

令和4年度区政会議に関するアンケート集計結果（大正区）

1. 大正区区政会議は、現在、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされているか。

選択肢	回答数	占有率	有効回答数	11
ア. 思う	7	63.6%		
イ. やや思う	4	36.4%		
ウ. あまり思わない	0	0.0%	肯定的意見 割合	100.0%
エ. 思わない	0	0.0%		

2. 3. 区政会議のより活発な意見交換に向けた課題と、改善のための取組や工夫

有効回答数	12
-------	----

選択肢(課題)	回答数	占有率 (複数回答可のため、割合の総合計は100%を超えます。)	改善に向けた 取組・工夫にかかる意見
ア 会議前に、十分資料を読み込む時間がない。	7	58.3%	・会議前に委員間で勉強会を行うため事前資料の送付時期を早めて欲しい。
イ 資料が多すぎる、または分かりにくい。	6	50.0%	・事前資料読んだうえで質問しないといけないので質問のハードルが高い。
ウ 意見を述べるために前提となる区の現状や行政のしくみ等についての知識が不足している。	7	58.3%	・大正区の取組を現場で見学・体験できる場をつくる。
エ 会議中に発言できる機会や時間が少ない。	0	0.0%	
オ 特定の人だけが発言している。	0	0.0%	
カ 意見交換を行いやすい配席になっていない。	2	16.7%	・席が離れすぎている。
キ 区役所側の説明が長く、意見交換をする時間が短い。	0	0.0%	
ク 区政会議の開催回数が少ない。	0	0.0%	
ケ 意見を述べても、区役所側から明確な回答が期待できない。	0	0.0%	
コ 意見を述べても、それがどう取り扱われているかが分かりにくく、区政に参画しているという実感が持てない。	2	16.7%	
サ 実質的な議論が部会で行われており、本会議ではその報告が中心となるため、他の部会の議題について意見を述べづらい。	0	0.0%	
シ その他 (ファシリテートがうまく行われていない。)	2	16.7%	議長とは別に会議にファシリテーターを用意する。
()			

4. 区政会議において、意見や要望、評価について、適切にフィードバックがおこなわれているか。

選択肢	回答数	占有率	有効回答数	11
ア. 思う	3	27.3%	肯定的意見 割合	81.8%
イ. やや思う	6	54.5%		
ウ. あまり思わない	2	18.2%		
エ. 思わない	0	0.0%		

5. 4について、なぜそのように思うか。

- ・きっちりと回答されている。
- ・事前質問意見に対して、説明・解答が出来ていると思う。
- ・内容によっては易しくない回答がある。
- ・事前アンケートや感想に対する回答がいまいちピンとこない。一緒に考えたものではなく、提示された資料に意見や質問をするので、何となく批判した形になってしまうのが心苦しいです。
- ・毎回事前に質問意見を受け付け、会議前に返答してくださっている。
- ・会議開催前に委員から意見票・質問票を提出して頂き回答をしている。意見に対する対応を区のホームページで公表。対応の進捗状況を会議・資料で明示。
- ・意見に対してのフィードバックは適切だと感じています。ただ、「検討します」の先が見えないため「イ」になりました。
- ・議事録等つぶさに作成され、振り返れる。
- ・若い方と高齢の方の温度差を埋めるのが大変そう。
- ・警察の目線ももう少し下げて、区民の問題点を解決してほしい。
- ・年4回のやりとりでは具体的なアクションには繋がらないと思う。
- ・どう参考にされているのかがいまいち分かりません。

6. その他意見等

- ・ 区政委員に決定した時点で将来ビジョンを読んでもらうなど、知りえる情報を開示し、質問に応えられるようにすれば、より理解は深まると思います。(前もって知っというもらって初めて参加)
- ・ 区政会議に参加することで自分の住む町について考えるきっかけや、区役所の方や地域の方々の活動や活躍を知ることができ、大正区がより身近なものに感じることができるようになり、感謝しています。
- ・ 今は会議に出席させて頂き、委員さんの意見を聞かせて頂きながら勉強させて頂きます！よろしくお願います。

令和4年度区政会議に関するアンケート 意見と対応一覧

	意見内容	対応
1	年4回の開催では具体的なアクションに繋がらないと思う。	開催頻度を上げることで委員の皆さまのご負担が多くなってしまう場合もあると考えられますので、提供する資料の内容や、議題内容について工夫をすることで、委員の皆さまに負担がかからないようにしながらも、活発な意見交換が行われるように取り組んでまいります。
2	これだけの量の資料に対して、全体に対する意見を求めるだけなので、質問しにくい。全ての資料に目を通し、参考資料も読んで上で質問しないといけないので、質問自体のハードルが高い。もっと会話のキャッチボールが気軽に出来る場がないとダメなのでは。委員の選び方や誘い方も工夫した方が良い。	提供する資料の内容や、議題内容について工夫をすることで、委員の皆さまに負担がかからないようにしながらも、活発な意見交換が行われるように取り組んでまいります。 また、委員の選任方法については、10月の改選時には様々な立場からのご意見をいただくために子育て世代や福祉の分野から委員を選出できるよう改善してまいります。
3	事前送付の日程にばらつきがあり、読み合わせをするにしても後手後手になるため、もう少し早く資料を送付してほしい。	委員の皆様が資料を熟読のうえ、ご検討いただけるよう、十分な期間を設けるようにいたします。
4	年間プログラム等で最初からテーマを区切って議論すればいいと思う。	事業の進捗に応じて議論いただく内容を決定しているテーマもあることから、全ての議題を年間プログラムとしてお知らせすることは困難ではありますが、定例の議題につきましては予めお知らせするようにいたします。
5	自分の意見を言うだけの会議なのか、議論するのか、意図が読めない場面が多々あり、議論のゴールが定まらないのが一番良くない。意見を言い、それに対する区からの回答を聞くだけの会議であれば集まる必要性はなく、書面又はオンラインで十分。ファシリテーターは、別途用意する必要があると考える。	区政会議は、会議として単一の結論をめざすものではなく、区民等からの多様な意見を聴取することを目的としています。また、区政会議の議事進行その他会議を主宰する者として議長を選任することとなっているため、ファシリテーターを別途用意する形ではなく、議論いただく内容が明確になるよう作成する資料や司会進行時に工夫してまいります。
6	意見を述べるために前提となる区の現状や行政のしくみ等について知識が不足していることを改善するため、実際に大正区の取組を現場で見学、体験する場をつくる。	10月の区政会議委員の改選時には各委員に対して区政会議や行政情報の基礎知識について学習していただく勉強会の実施を予定しております。
7	区政会議委員に決定した時点で将来ビジョンを読んでもらうなど、知りえる情報を開示し、質問に答えられるようにすれば、より理解は深まると思う。(前もって知っというてもらって初めて参加する)	
8	一緒に考えたものではなく、提示された資料に意見や質問をするので、何となく批判した形になってしまい心苦しい。	ご意見をいただき、ともに考えていくことがより良い区政運営を行ううえで必要不可欠であるため、今後ともお気になさらず忌憚のないご意見を頂戴できればと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

令和4年度区政会議に関するアンケート 意見と対応一覧

	意見内容	対応
9	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートや感想に対する回答がいまいちピンとこない。 ・内容によっては易しくない回答がある。 ・どう参考にされているのかがいまいち分からない。 ・「検討します」の先が見えない。 	<p>回答内容については、明確でわかりやすい内容に努めてまいりますが、区政に反映できないご意見に対する回答については、ご納得いただけないものになることもございますが、何卒ご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p>なお、委員のみなさまよりいただいたご意見に対しましては、区政会議当日の回答とその後の対応について、一覧を作成し送付させていただいておりますが、その時点で検討中と回答した内容につきましては、今回の議題である「現区政会議委員在任期間中（令和3年10月1日～令和5年9月30日）の委員からのご意見と区政への反映について」のような機会を設け検討の状況を報告いたします。</p>
10	<p>席が離れすぎていて意見交換を行いやすい配席になっていない。</p>	<p>これまでは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から席間を広く取っておりましたが、今後は感染の拡大状況を考慮しながら席間を小さくする等意見交換を行いやすい配席に努めてまいります。</p>